

SAKURAMASU SANCTUARY CENTER

小さな命、
きらめいて...



北海道積丹町
サクラマスサンクチュアリーセンター

自然との共生を考えた環境づくり

余別川流域の拠点ともなっている、洒落たログハウス風のサンクチュアリーセンター内には、サクラマスの一生や余別川の自然などを紹介するビデオコーナーや川の魚たちの生態などをパネルで展示。また、生きたサクラマスの稚魚を直に観察できる水槽など、サクラマスをはじめ川に棲む魚や余別川流域の自然まで、しっかりと学ぶことができます。

美しい緑に包まれた周辺には、河川管理展望施設や遊歩道も整備。川のせせらぎを聞きながら、豊かな自然とのふれあいを感じてください。

●ビデオコーナー

「余別川の自然」・「サケ科の魚たち」・「サクラマスの産卵」・「サクラマスの放流」・「サクラマスの一生」・「川を守る」が放映されています。



木のぬくもりが感じられる展示室には、余別川流域の美しい自然の中で育まれる、幾つもの生命の時間が流れています。



落ち着いた雰囲気の中で、豊かな自然の姿をじっくり学び、その素晴らしさを心ゆくまでじっくりと感じてください。



- マイカー利用の場合
札幌▶2時間 / 小樽▶1時間30分
- バス利用の場合
JR小樽駅前～美国～余別(2時間15分)
- JR利用の場合
JR余市駅下車。
駅前より北海道中央バスで1時間45分

交通機関のお問い合わせ

- 北海道中央バス
小樽案内 (0134) 25-3333 / 美国ターミナル (0135) 44-2128
- JR
余市駅 (0135) 23-3631 / 小樽駅 (0134) 22-5001

- 開館期間 5月1日～10月31日まで
- 開館時間 午前9時00分～午後5時00分

北海道積丹町
サクラマス サンクチュアリーセンター
積丹郡積丹町大字余別町312番地

余別川から広がる、自然へのやさしい夢

昭和50年に保護水面河川の指定を受け、河川環境の保護や資源の増産化に取り組んでいます。積丹の美しい自然に包まれた余別川では、様々な生き物たちの営みが続けられています。

「サクラマス・サンクチュアリーセンター」は、そんな豊かな自然が保たれている余別川を中心に、自然とふれあい、自然の素晴らしさを学ぶことを目的として、平成6年に生まれました。

以来、余別川に棲むサケ・マス類の適正な資源管理を行うための調査研究や技術開発、普及啓発に努め、自然へのやさしい夢を育んでいます。

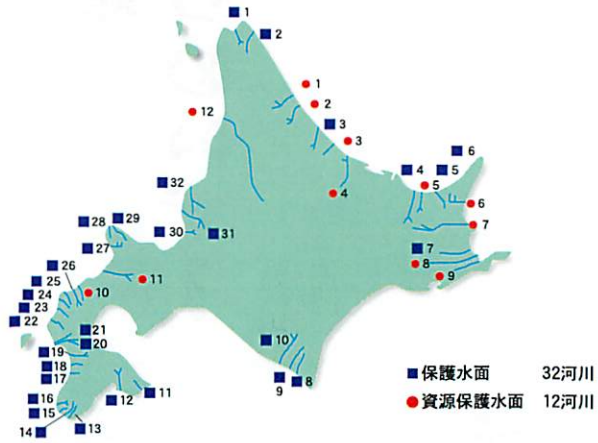


SAKURAMASU SANCTUARYCENTER

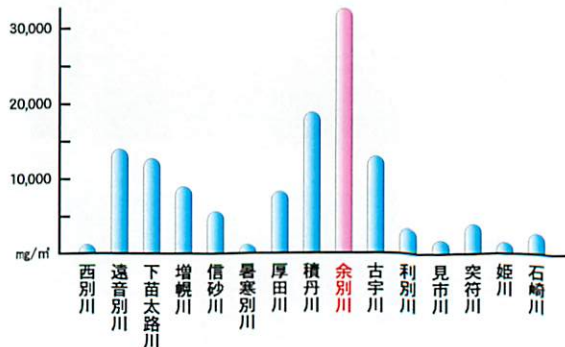
遠い昔から、 川は多くの生命を育んできました。

豊かな自然が多く残る北海道ですが現在、そこに棲む生き物たちの環境は、決して良いと言えない状況にあります。余別川では、豊かな自然を守るため保護水面河川の指定を受けていますので、周年動植物の採取・捕獲が禁止され、サケ・マス資源の保護・培養に取り組まれています。

また余別川は、エサとなる底生生物の量が極めて多いため、サクラマスだけではなくサケやアメマス、アユ、ウグイなども生息し、北海道の保護水面河川の中でも環境が良く、生産性の高い河川となっています。



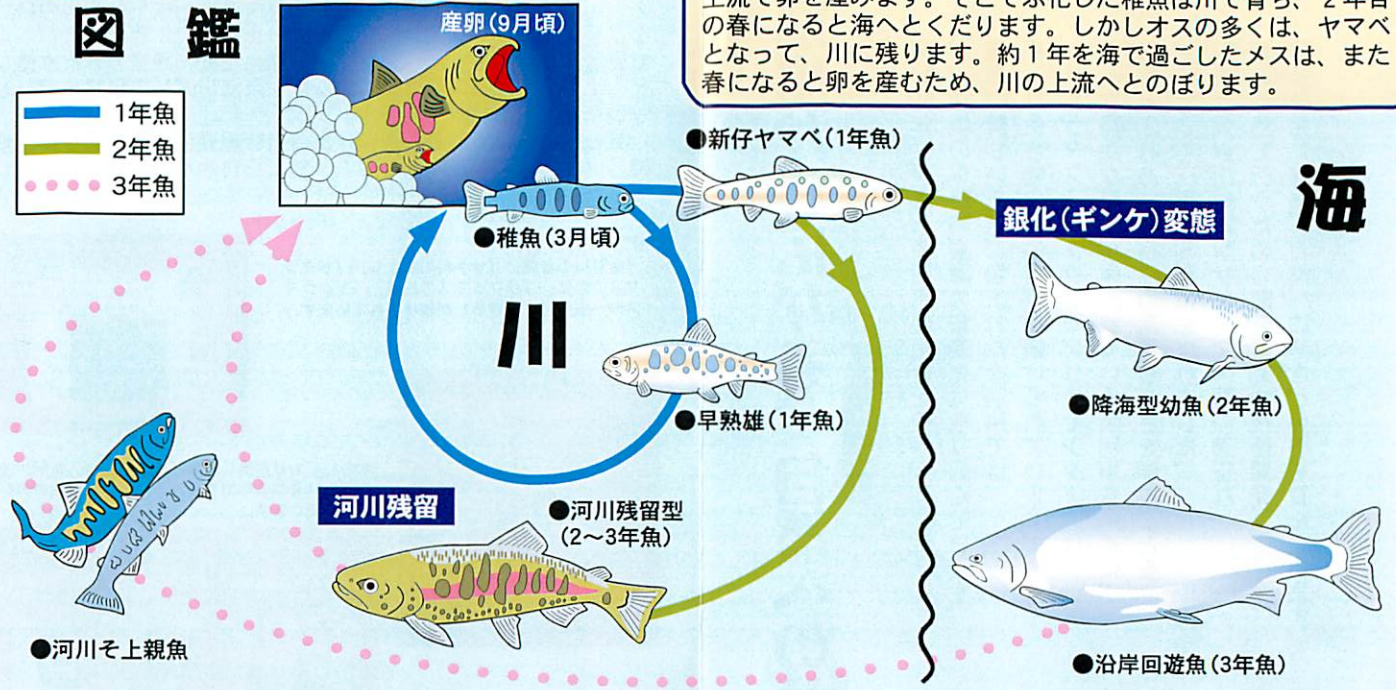
河川別底生生物量



さかな

図鑑

- 1年魚
- 2年魚
- 3年魚



サクラマスの一生

サクラマスのメスは、春になると海から川へとのぼり、秋に上流で卵を産みます。そこでふ化した稚魚は川で育ち、2年目の春になると海へとくだります。しかしオスの多くは、ヤマベとなって、川に残ります。約1年を海で過ごしたメスは、また春になると卵を産むため、川の上流へとのぼります。

